

## 陶磁専攻 3 ポリシー

### ディプロマ・ポリシー

#### ■ 人材育成目標

陶磁専攻では、「暮らしに関わる陶磁」を教育の主軸とし、建築、デザイン、造形、伝統陶芸など、分野を超えて陶磁の表現と可能性を探求する意欲ある人材の育成を目標にしています。

#### ■ 卒業までに身につけるべき資質・能力

- ・多様な技法に関する基本的な技術力と創造力
- ・人の暮らしを見据えた陶磁の在り方を模索・創造する能力

#### ■ 学位の授与方針と評価方法

最終年次の「卒業制作」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士の学位を与えます。

- ・所定の在学期間の確認、必要単位修得の確認
- ・卒業制作の評価・・・専攻教員が審査員として様々な視点から個々に採点し、協議の上、総合的且つ客観的に評価を決定します。

### カリキュラム・ポリシー

#### ■ 教育課程の編成方針

陶磁教育を通じて、社会に益する幅広い視野と豊かな創造性の習得ができるようカリキュラムを編成しています。

#### ■ 具体的なカリキュラム校正と特徴

一貫して基本的な造形力、発想力、描写力、構成力を修得するカリキュラムが組みられています。

- ・1、2年次の基礎課程では、陶磁器制作に必須の基礎造形力の養成と様々な基礎技法の修得を目標にしています。
- ・3、4年次の専門課程は、各教員による専門領域からなり、陶磁の可能性と表現を探究するカリキュラムが組み立てられ、学生自身が将来の目標や志向を見据え選択します。

#### ■ 教育課程の評価方針・方法

- ・課題の指導は、専門性の高い非常勤講師も含めた複数の教員が指導にあたり、評価は複数の教員が総合的に評価し客観性を高めています。
- ・その他の授業科目については、各科目の担当教員がシラバスに定めた方法により評価します。

### アドミッション・ポリシー

#### ■ 求める人物像

- ・暮らしに関わる工芸やデザインに関心があり、想像力豊かな人
- ・陶磁分野の可能性を探求し、創作意欲のある人

#### ■ 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩による表現力

#### ■ 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力と表現力を問う入学試験を実施します。

#### 【一般選抜】

- ・大学入学共通テストによる学力試験および描写、色彩表現の実技試験の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

#### 【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査と、実技試験（立体）、面接試験により合否を判定します。